Combi

# コンビ　チャイルドシート
# セパラテ S

## 取扱説明書 (品質保証書付)

●お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分ご理解の上、記載された内容に従い正しくご使用ください。

●58ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。

**● 本書はシート部背面裏に保管してください。（5ページ参照）**

**⚠危険** 体重9Kg未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。

汎用型 質量グループ0.1
体　重 ～18kg未満の乳幼児用


お使いいただく前に

車に取り付ける前に

車への取り付け

お手入れ

# お使いいただく前に

このたびは、コンビチャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしもお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者の方が同乗してください。

**●表示について**

この取扱説明書では、安全に正しくお使いいただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したものです。大変重要な内容です。必ずお守りください。

| 表　示 | 表示の内容 |
|---|---|
| ⚠ 危険 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。 |
| ⚠ 警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
| ⚠ 注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。 |
| ワンポイント | チャイルドシートを使用する上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。 |



# もくじ


**お使いいただく前に**

お使いいただく前に …… 1
各部のなまえ …… 3
使用条件 …… 7
シートベルトの種類と使用上の注意点 … 8
取り付けできない座席 …… 9
安全にお使いいただくために …… 11

**車に取り付ける前に**

リクライニングの使いかた …… 19
前向きからの分離のしかた …… 20
インナークッションの使いかた … 21
お子さまの座らせかた …… 23
幼児ベルトの長さ調節のしかた … 27
肩ベルト通し穴の位置の決めかた … 29

**車への取り付け**

車への取り付け …… 33
取り付け準備 …… 34
後向き取り付け …… 35
後向き取り付け完了チェックのしかた … 42
後向き取り外し …… 43
前向き取り付け …… 45
前向き取り付け完了チェックのしかた … 49
前向き取り外し …… 50

**お手入れ**

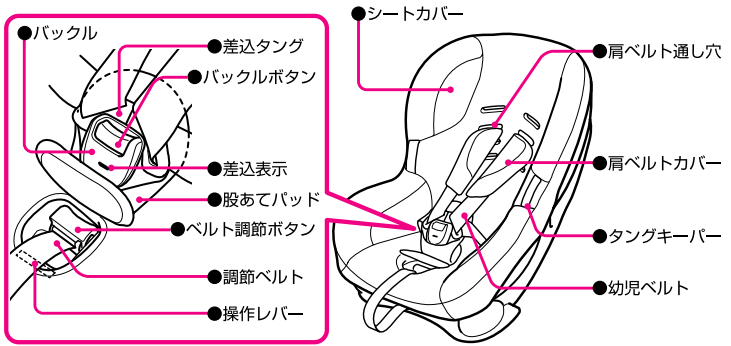
シートカバーの外しかた …… 51
シートカバーの取り付けかた …… 53
洗いかた …… 55
保管・廃棄のしかた …… 56
製品仕様 …… 57
品質保証書 …… 58
角度チェッカー ……表紙裏

# 各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

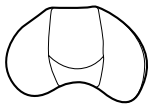
つづく

## 梱包内容

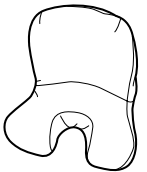



### インナークッション

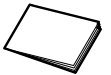
●頭部用



●座面用

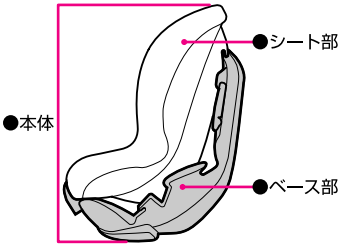


●取扱説明書



●お客様
登録カード

本書で使われる「本体」「シート部」「ベース部」とは、以下の部分です。





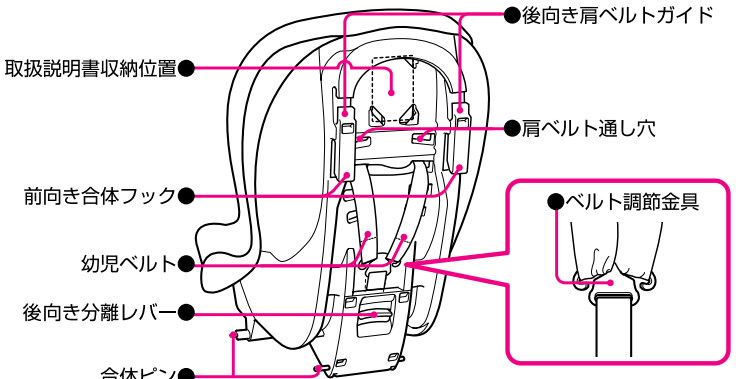



お使いいただく前に

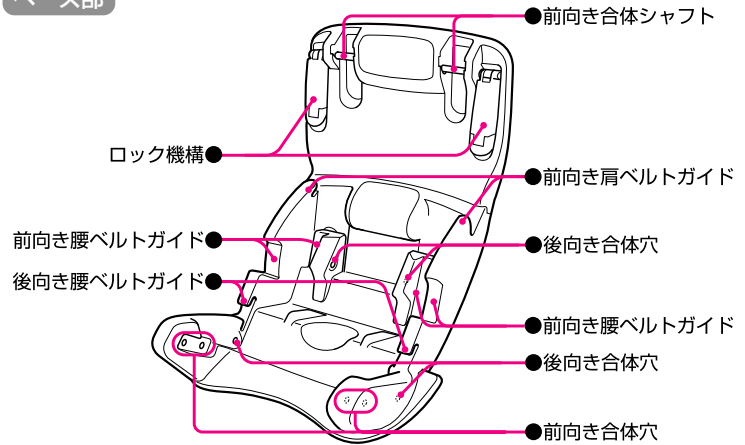
# 各部のなまえ

## シート部 裏側

工場出荷時は、シート部とベース部が合体されています。
確認するために分離する場合は、20ページ前向きからの分離のしかたをご参照ください。




## ベース部



# 使用条件

お子さまの体重にあわせて、3つの使いかたができます。体重にあわせて正しくお使いください。

| 取付方向 | 後向き | 後向き | 前向き |
|---|---|---|---|
| 使用状態 | | | |
| 体重条件 | 7Kg未満 | 7Kg以上10Kg未満 | 9Kg以上18Kg未満 |
| 身長の目安 | ～60cmくらい | 60cm～75cmくらい | 75cm～105cmくらい<br>後頭部がチャイルドシートの背もたれから出ないこと |
| 年齢の目安 | 新生児～4ヶ月ころ<br>※新生児とは、体重2.5Kg以上かつ在胎週数37週以上。 | 4ヶ月～1才ころ | 1才～4才ころ |
| その他条件 | インナークッションを必ず使用する。 | インナークッション使用禁止 | インナークッション使用禁止 |

**⚠危険** 「身長の目安」や「年齢の目安」はあくまでも目安です。身長や年齢が上記を満たしていても、「体重条件」を満たしていないお子さまはお使いになれません。



# シートベルトの種類と使用上の注意点

**チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。**

本装置はUN/ECE規則No.16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式/リトラクター付き安全ベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

※日本国内で登録されている自動車は、ほぼ適合しております。車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。
http://www.combibaby.com

**⚠危険**
- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

| シートベルトの種類 | 特徴（見分け方） | 後向き取付け時の注意点 | 前向き取付け時の注意点 |
|---|---|---|---|
| ELR | ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。 | ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。 | ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。 |
| AELR | ベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(ベルトを全て巻き戻すと解除される) | シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。 | ロック機構により固定してください。 |
| NR | 巻き取り装置の付いていないシートベルト。 | チャイルドシートに合わせてベルトの長さを調節し、固定してください。 | チャイルドシートに合わせてベルトの長さを調節し、ロック機構により固定してください。 |
| NLR | ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。 | | |
| ALR | ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。 | **使用できません。** | |

**2点式シートベルトとは**

図のように、左右の腰ベルトの2点で体を支えるシートベルトのこと。

**3点式シートベルトとは**

図のように、左右の腰ベルトと肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。

# 取り付けできない座席

## 取り付けできない座席

次の条件のいずれか１つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

**下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかり固定できない場合には使用しないでください。**

●シートベルトの付いていない座席。

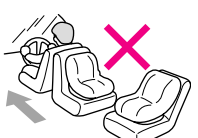
●2点式シートベルトの座席。

●座席の奥行きが40cm未満の場合。

●極端なバケットシート。
… 座面の中央が深くへこんでいる座席。

●ヘッドレスト部が極端に出っぱっている座席。
… ヘッドレスト部の形状により、リクライニング操作や合体操作ができない座席。
※ ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になればその座席でも取り付けできます。

●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



●パッシブシートベルトの付いた座席。
※パッシブシートベルトとは
… 車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車に多くみられます。（オートマチックシートベルト）

●エアバッグ装備の座席。
… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

●シートベルトが座席の中間から出ている座席。
… チャイルドシートのシートベルト通し部の位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。

●座席の中央が極端に盛り上がっていて、取り付けたときに不安定になる座席。

●シートベルトの取り付け幅※が32cm未満の場合。
※ シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ。

●シートベルトの長さが極端に短い座席。

お使いいただく前に

# 安全にお使いいただくために

つづく

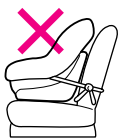
## ⚠危険

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

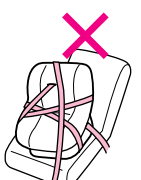
●使用条件に適合しないお子さま・座席・取付方向などでは、使用しないでください。

●お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。
座らせたときには、お子さまに股あてパッド、幼児ベルトが正しく装着され、左右の差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。

●車に取り付けるときは、必ず車のシートベルトで固定してください。ひもなど、シートベルト以外のもので固定しないでください。



●車に取り付けるときは、シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。





## ⚠危険

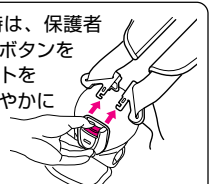
●エアバッグが装着された座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

●車のシートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書どおりにチャイルドシートをしっかり固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

●ベース部とシート部が確実に合体していることを確認してください。

## ⚠緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方がバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



# 安全にお使いいただくために

つづく

## ⚠警告

**次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。**

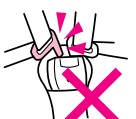
●幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
　●幼児ベルトは正しい長さに調節してください。(28ページ参照)

●7kg未満の小さな赤ちゃんを乗せる場合には、必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。

●衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。

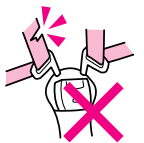
●車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。

●バックルにゴミなどが詰まって確実に差し込めない場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザにお問い合わせください。

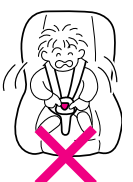


## ⚠警告

●幼児ベルトに傷が付いたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザにお問い合わせください。



●お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。ときどき、差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。
はずれていると本来のはたらきをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



●お子さまを車内に1人で放置しないでください。
日ざしの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の元となります。必ず保護者の方が同乗してください。

●チャイルドシートにこどもが乗った状態で運ばないでください。

## ⚠警告

次のような使いかたは、同乗している方に危険をまねくおそれがあります。

●お子さまがチャイルドシートに乗っていないときでも、必ずシートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。

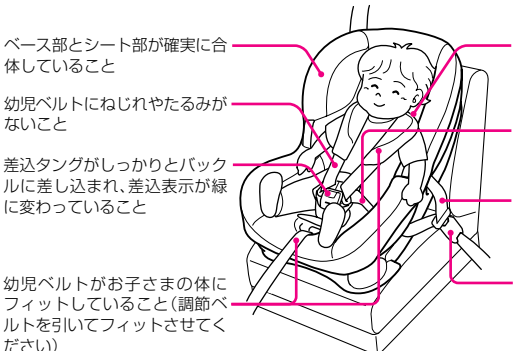
●シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。

●車の前座席に、チャイルドシートを後向きに取り付け、助手席側のドアミラーが見えにくいときは、後座席に取り付けてください。

●2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

## ⚠日常の点検

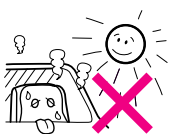
チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。



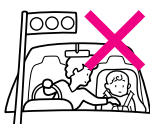

※イラストは前向き使用例

## ⚠注意

●直射日光が当たると、本体や差込タング、などが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを乗せる前に各部にさわり、やけどをしないことを確認してから使用してください。



●走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。



●チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒してけがの原因となります。この取扱説明書に記載されている使いかたで使用してください。

●チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。

●チャイルドシートを改造しないでください。また、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。

## ⚠注意

●車の座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。

●チャイルドシートを風雨にさらさないでください。

●シートクッションなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）

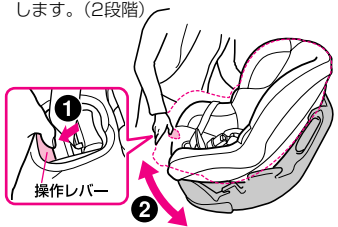
●固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たる可能性があります。

●チャイルドシートを持ち上げた状態で、操作レバーや、後ろ向き分離レバーを操作しないでください。

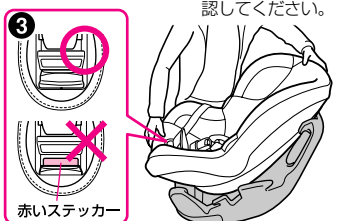
## リクライニングの使いかた（前向き使用時のみ）

**お子さまが眠ったときなどのために、チャイルドシートを寝かせることができます。**
※後向き使用時にリクライニングはできません。

**1** ❶座面前部にある操作レバーを、親指で矢印の方向へ押し込みながら❷シートを矢印の方向へに動かし、リクライニングを調節します。（2段階）




**2** 操作レバーから親指を離して、固定されていることを確認したうえで、❸操作レバーの下に赤いステッカーが見えないことを確認してください。




**注意**
- ●指や手などをはさまないようにご注意ください。
- ●同乗者の手元にも十分ご注意ください。
- ●リクライニング操作は、必ず車を停車させて行なってください

**警告**
- ●リクライニング操作後は、操作レバーの下に赤いステッカーが見えないことを確認してください。赤いステッカーが見える場合は、シートが固定されていない状態です。作業をやり直して、確実に固定してください。

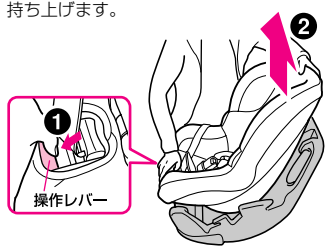


## 前向きからの分離のしかた

**工場出荷時、前向きの状態で合体しております。**
**車に取り付ける前に、シート部とベース部を分離します。**

**1** リクライニングを調節し、最も立たせた状態にしてください。（19ページ参照）

**2** ❶座面前部にある操作レバーを、親指で矢印の方向へ押し込みながら❷シートの上端と下端を図のように持ち、❸矢印の方向へ持ち上げます。




**3** 分離させたシート部は安定した平らな場所に置いてください。

●前向き合体のしかた、後向き合体のしかた、後向き分離のしかたは、取り付けかた（37ページ～54ページ）の中で説明しております。

# インナークッションの使いかた（7Kg未満のお子さまには）

**インナークッションは、小さな赤ちゃんを保護するためのものです。お子さまの体重が7kg未満の場合には、インナークッションをお使いください。（工場出荷時、インナークッションは取り付けられています）また、7kg以上になりましたら必ず取りはずしてください。**

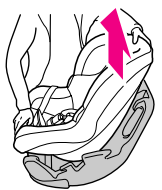
**⚠危険**

- ●インナークッションが使用できるのはお子さまの体重が7kg未満のときだけです。7kg以上で使用すると、本来の機能を果たさず危険です。
- ●インナークッション（頭部用）とインナークッション（座面用）は、どちらか片方だけでは使用しないでください。必ずセットでお使いください。
- ●インナークッションは、取り付けかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

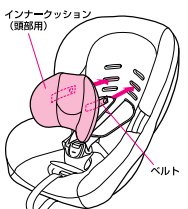
**⚠注意**

- ●はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります
- ●チャイルドシートを持ち運ぶときには、インナークッションを持たないでください。

**1** シート部をベース部から分離します。（分離のしかたは、20ページ参照）

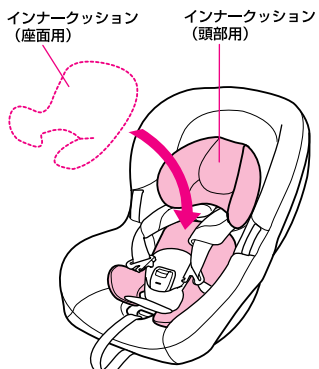


**2** インナークッション（頭部用）のゴムベルトを、幼児ベルトを通している肩ベルト通し穴から2段上の穴に通します。




**3** 図のようにゴムベルトのホックをとめます。

**4** インナークッション（座面用）をのせて取り付けます。



# お子さまの座らせかた

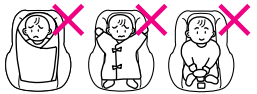
つづく



**あらかじめ、使用するベルト通し穴の位置をお子さまの体に合わせてください。**
**（29〜32ページ参照）**

⚠警告

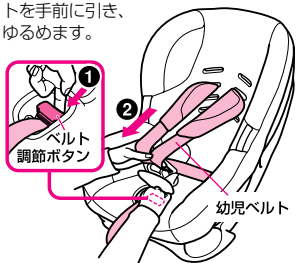
- ●おくるみなど、両足が分かれない衣類の着用はおやめください。



- ●お子さまをタオルなどでくるんだまま、乗せない。
- ●かさばったベビーウェアを着せたまま、乗せない。
- ●お子さまを乗せるときには、下図のような乗せかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

## 1

❶ベルト調節ボタン（オレンジ色）の『PRESS』を押しながら、❷左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめます。

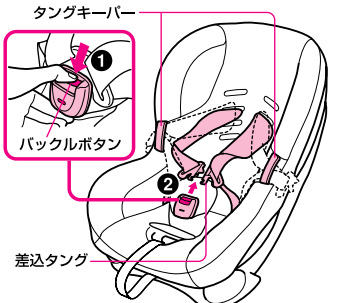



ワンポイント

- ●肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。
- ●ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っぱりながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

## 2

❶バックルボタンを押して、❷差込タングを抜きます。




ワンポイント

- ●差込タングをシートカバー側面にあるタングキーパーに差し込んでおくと、お子さまの乗せ降ろしのときに、じゃまになりません。

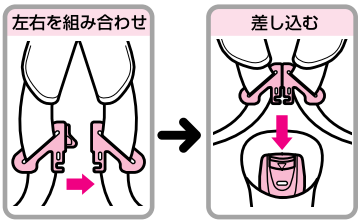
## 3

お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通します。

ワンポイント

- ●後ろ向き使用時にお子さまを座らせる時は、車の内側からお子さまを乗せ降ろししてください。車のシートベルトがじゃまになりません。

**4** 左右の差込タングを組み合わせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングをバックルに差し込みます。




ワンポイント ●バックルのボタンは、お子さまの力ではははずれないように固くしてあります。

⚠警告 ●左右の差込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。

**5** 差込表示が『緑色』に変わっていることを確認してください。

**6** 調節ベルトを手前に引き、左右の幼児ベルトがお子さまの体にフィットするように調節します。

# 幼児ベルトの長さ調節のしかた

**お子さまを座らせて、幼児ベルトがフィットするように長さを調節します。左右どちらかのベルトを強く引くと、左右のベルトの長さが変わりますので、左右の幼児ベルトの長さが同じになるように調節してください。**

**⚠警告**

- 必ずベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。
- 幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻きつき窒息するおそれがあります。

## 幼児ベルトを短くするには(お子さまを乗せ終わったら)

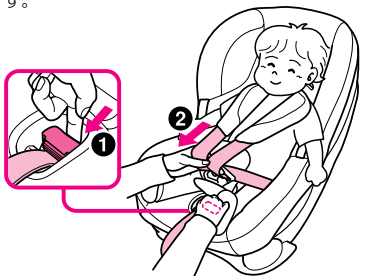
調節ベルトを引きます。

ワンポイント

- お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入るくらいが適切です。きつかったり、ゆるかったりするときには、幼児ベルトの長さを調節してください。

## 幼児ベルトを長くするには(お子さまをおろすときは)

ベルト調節ボタン(オレンジ色)の「PRESS」を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に引きます。




ワンポイント

- 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。幼児ベルトを引いてください。
- ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っぱりながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

# 肩ベルト通し穴の位置の決めかた

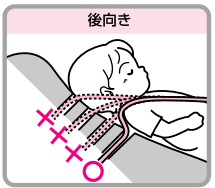
つづく



**肩ベルト通し穴位置は、後向きと前向きで選ぶ位置が違います。取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。**

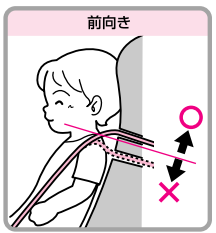
**●後向き取り付け時の肩ベルト通し穴位置**

後向き取り付けのときは、必ず最下段の肩ベルト通し穴を使用してください。




**●前向き取り付け時の肩ベルト通し穴位置**

前向き取り付けの時は、お子さまの肩よりすぐ上の肩ベルト通し穴を使用してください。

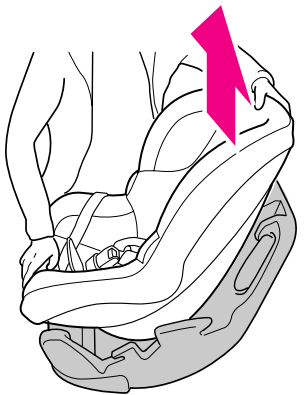



**1** お子さまをチャイルドシートに座らせ、正しい肩ベルト通し穴の位置を確かめます。

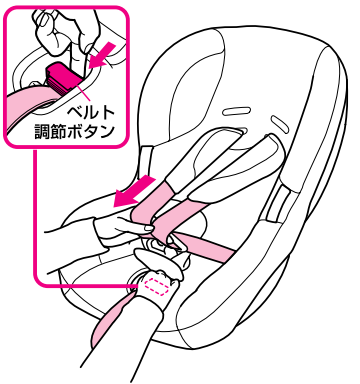
**⚠警告**

- ●後向き使用時の肩ベルト通し穴位置は、必ず最下段の肩ベルト通し穴を使用してください。
- ●前向き使用時の肩ベルト通し穴位置は、お子さまの肩よりすぐ上の肩ベルト通し穴を使用して下さい。
- ●肩ベルト通し穴は、左右同じ高さの穴を使用してください。

**2** シート部とベース部を分離する。
(20ページ参照)



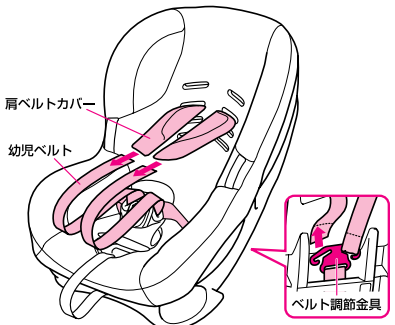
**3** ベルト調節ボタン(オレンジ色)の『PRESS』を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に引けなくなるまで引き出します。
(28ページ参照)



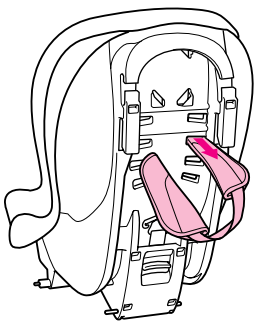

車に取り付ける前に

## 肩ベルト通し穴の位置の決めかた

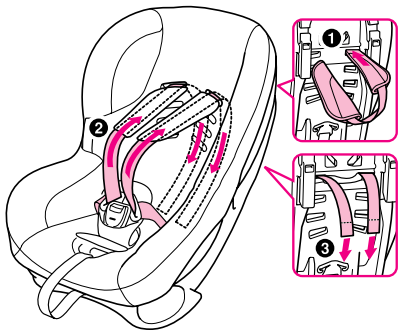
**4** ベルト調節金具から幼児ベルトをはずし、シート部前面から引き抜きます。



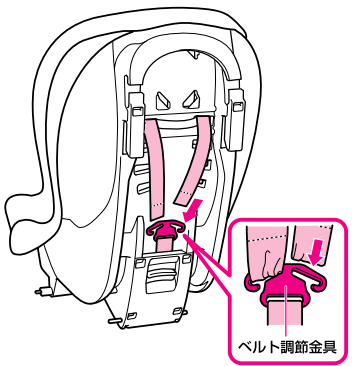

**5** 肩ベルトカバーは、シート部裏面のベルトを引き、左右順番に引き抜きます。



**6** ❶肩ベルトカバーを適正な位置に通して、❷その中をねじれないように注意しながら幼児ベルトを通し、❸シート部裏面に引き出す。




**7** シート部裏面で、幼児ベルトをベルト調節金具に取り付ける。



# 車への取り付け

**ここでは、取り付け上のご注意、後向きの取り付けかた、前向きの取り付けかたを説明しています。**

※車の座席形状などにより、取り付けできない場合があります。詳しくは9〜10ページを参照してください。

**⚠危険**

- ●チャイルドシートがしっかりと固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- ●車への取り付けは、ひもなど、シートベルト以外のもので固定しないでください。
- ●エアバッグが装着された座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、大変危険です。
  ※サイドエアバッグのみの場合には、使用できます。

**⚠警告**

- ●車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。
- ●助手席にチャイルドシートを取り付けてドアミラーが見えにくい場合は、後部座席に取り付けてください。
- ●お子さまが乗っていないときでも、チャイルドシートは必ずシートベルトで固定しておいてください。
- ●シフトノブやサイドブレーキなど運転に支障をきたす場合は、助手席に取付けないでください。
- ●2 ドア車、 3 ドア車で後部座席に人が乗る場合、緊急時の脱出の妨げになりますので助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。

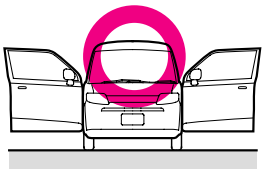




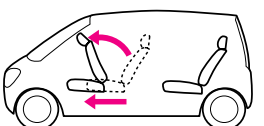
# 取り付け準備

## 取り付け作業の前に

**1** 取り付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平らな場所で行なってください。



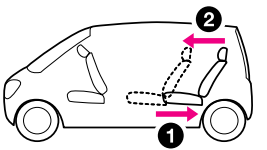
**2** 車内の作業スペースを確保するため、前席をたおしたり、スライドさせてから取り付けしてください。



## 取り付け座席のスライド機能について

❶取り付け座席にスライド機能がある場合、取り付け前に、一番後ろにスライドしてください。

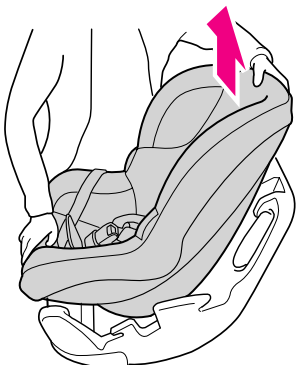
❷取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。



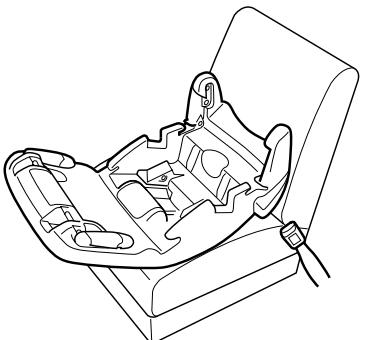
# 後向き取り付け（体重10Kg未満のお子さま）

つづく

**1** シート部とベース部を分離する。（前向きからの分離方法は、20ページ参照）（後ろ向きからの分離方法は、44ページ参照）

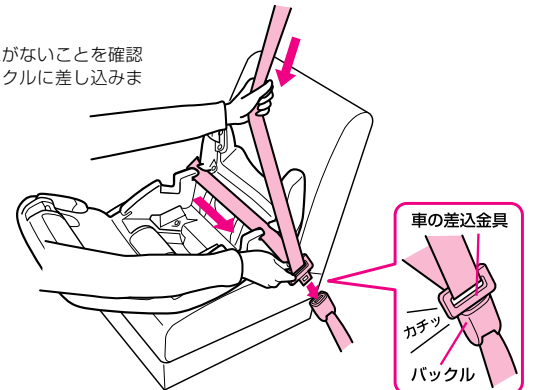


**2** ベース部を車の座席に後向きの状態でのせる。



**3** ❶車のシートベルトを引き出し、❷腰シートベルトを後向き腰ベルトガイドにかける。

**4** シートベルトにねじれがないことを確認し、車のタングをバックルに差し込みます。

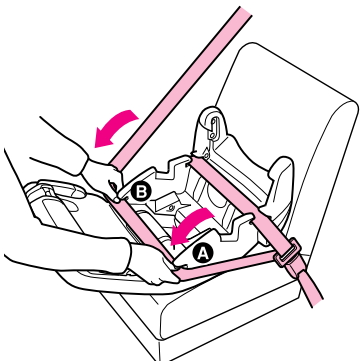






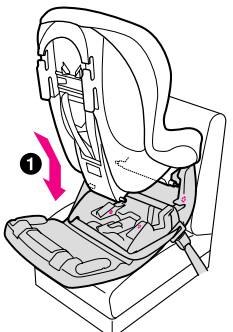

車への取り付け

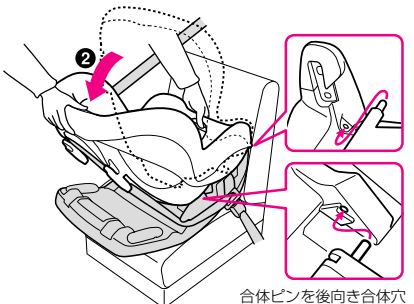
**5** シートベルトをのばして、肩シートベルトを図のガイドⒶⒷ(2ヶ所)に一時的にかけます。




**6** ベース部にシート部を合体させます。

ワンポイント ●シート部上部を持ち、シート部先端部を先に入れる

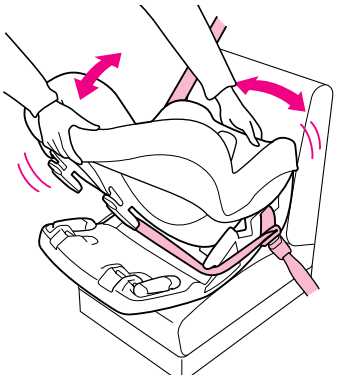



合体ピンを後向き合体穴にいれてください。

⚠危険 ●前向き合体穴で合体しないでください。

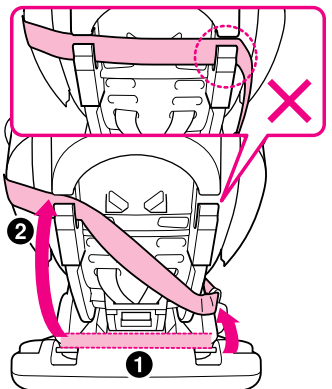
**7** ベース部とシート部が確実に合体していることを確認。



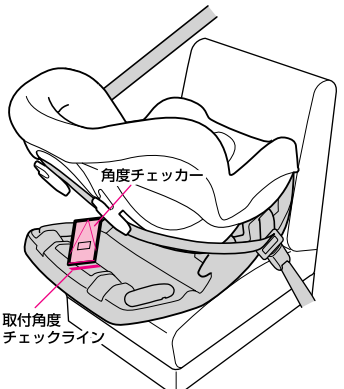
## 後向き取り付け（体重10Kg未満のお子さま）

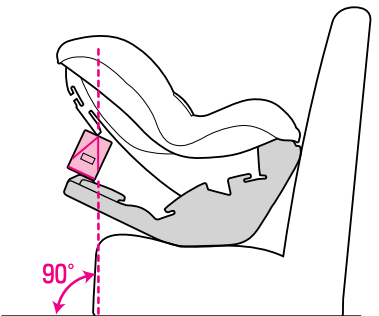
つづく

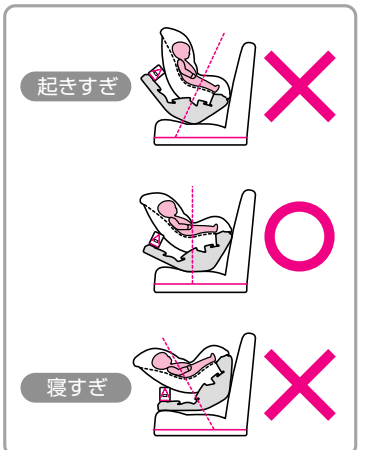
**8** ❶一時的にかけていたガイド(2ヶ所)からシートベルトを外し、❷シート部裏の後向き肩ベルトガイド(1ヶ所)にかける。



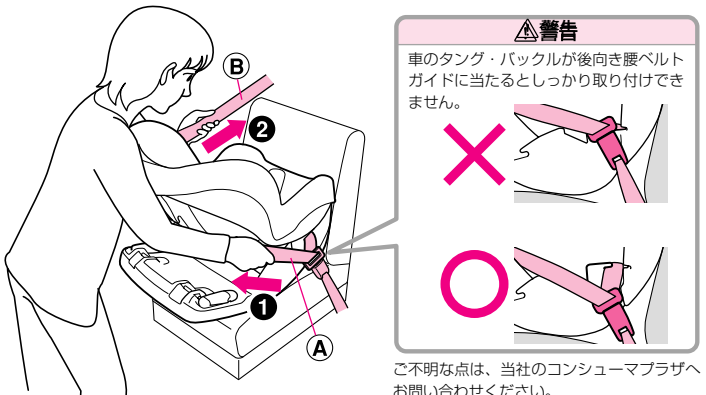

**9** 取扱い説明書の角度チェッカーを使用し、背面の角度を調整する。



**10** 角度を固定し、体重をかけて、❶Ⓐの部分のシートベルトのゆるみをなくし、もう一方の手で❷Ⓑの部分のゆるみをとります。




**⚠警告**

車のタング・バックルが後向き腰ベルトガイドに当たるとしっかり取り付けできません。



ご不明な点は、当社のコンシューマプラザへお問い合わせください。



## 後向き取り付け完了チェックのしかた

つづく

①シートベルトのタングがバックルに確実に差し込まれていること

②お子さまの体重が7Kg未満の場合は、インナークッションが取り付けてあること

③腰シートベルトが後向き腰ベルトガイド(青)にかかっていること

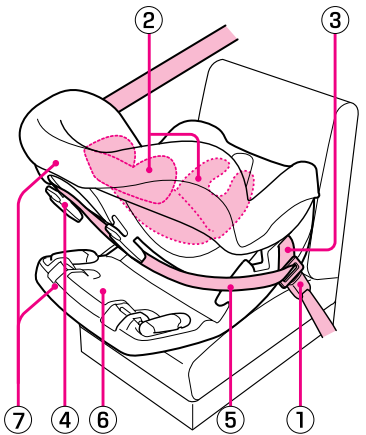
④肩シートベルトがバックルと反対側の後向き肩ベルトガイド(青)1ヶ所にかかっていること

⑤シートベルトにゆるみ・たるみがないこと

⑥角度チェッカーにより、適切な角度になっていること

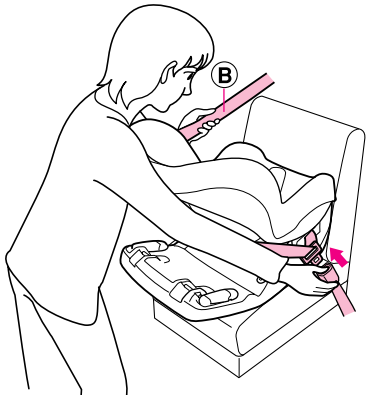
⑦ベースと本体が確実に合体していること

ワンポイント ●後向き取り付けは、ベース部底面が円弧形状になっておりますので、取り付け後にベース部を動かすことができます。

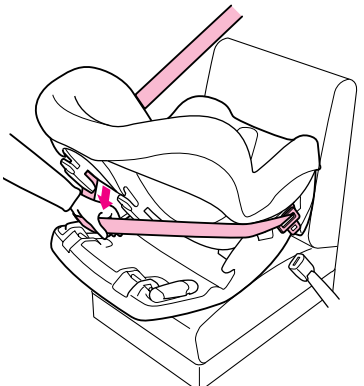


# 後向き取り外し

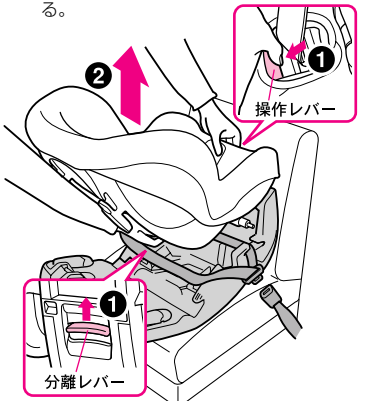
**1** シートベルトのⒷの部分を片手で持ち、車のタングをバックルから外します。



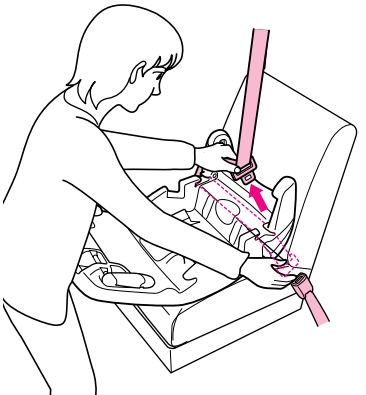

**2** 肩シートベルトを後向き肩ベルトガイドから外します。



**3** ❶シート部裏の分離レバーとシート部座面前部の操作レバーを両方にぎり、❷本体シートを持ち上げ、ベース部から分離する。



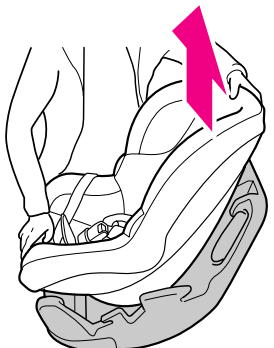

**4** 腰シートベルトを後向き腰ベルトガイドから外します。



# 前向き取り付け（体重9Kg～18Kg未満のお子さま）

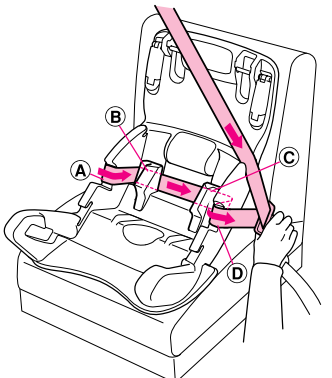
つづく

**1** シート部とベース部を分離する。（前向きからの分離は20ページ参照。後向きからの分離は、44ページ参照）

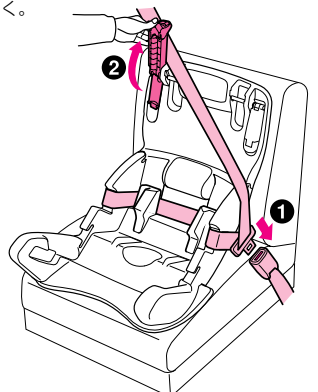


**2** ベース部を車の座席に前向きの状態でのせる。

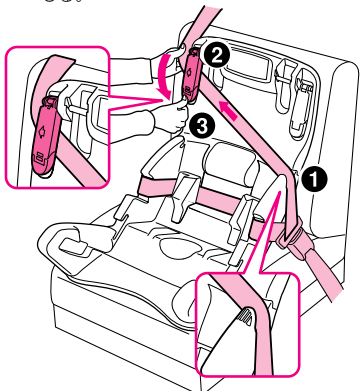
**3** 車のシートベルトを引き出し、腰シートベルトを前向き腰ベルトガイドⒶⒷⒸⒹ（4ヶ所）にかける。



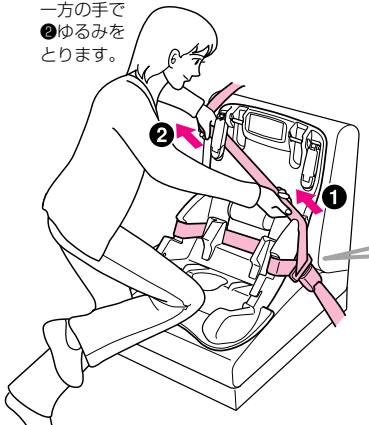

**4** シートベルトにねじれがないことを確認し、❶車のタングをバックルに差し込みます。❷バックルと反対側のロック機構を開く。



**5** 肩シートベルトを❶前向き肩ベルトガイドと❷ロック機構を通し、❸ロック機構を閉じる。

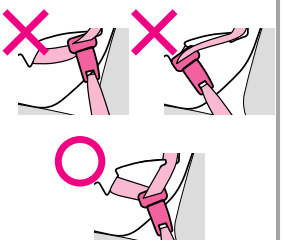



**6** ベース部にひざを乗せて体重をかけながら❶矢印の方向へ引き、ゆるみをとり、もう一方の手で❷ゆるみをとります。



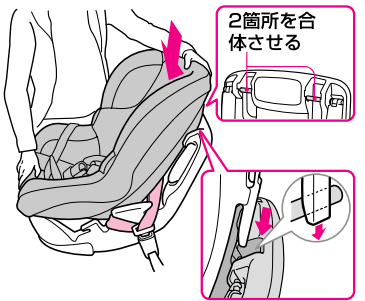

**⚠警告**

車のタング・バックルが前向き（肩/腰）ベルトガイドに当たるとしっかり取り付けできません。



ご不明な点は、当社のコンシューマプラザへお問い合わせください。

**7** ベース部にシート部を合体させます。




**⚠危険**

●前向き合体フックが確実に前向き合体シャフトにかかっていることを確認してください。

ワンポイント ●合体のコツ　シート部上部を持ち、本体シート部背面をベース部に当てながらおろす。

## 前向き取り付け完了チェックのしかた

①シートベルトのタングがバックルに確実に差し込まれていること

②シートベルトにゆるみ･たるみがないこと

③腰シートベルトが前向き腰ベルトガイド（赤）にかかっていること

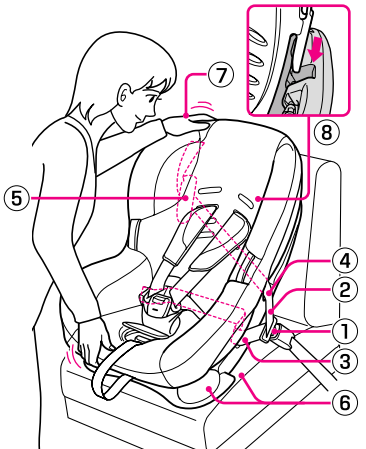
④肩シートベルトが前向き肩ベルトガイド（赤）にかかっていること

⑤バックルと反対側のロック機構にベルトが通っていること

⑥ベース部が車の座席にフィットしていること

⑦ベース部を前後左右にゆすり、ベース部分が約 3 センチ以上動かないことを確認する。

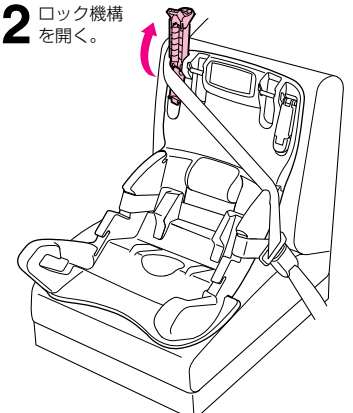
⑧ベース部とシート部が確実に合体していること



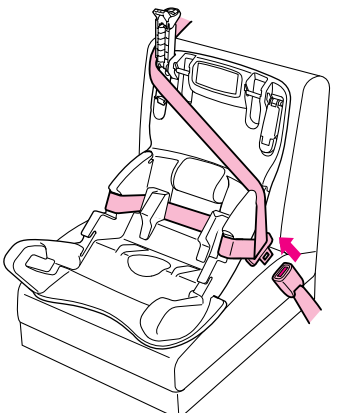

## 前向き取外し

**1** 本体シートをベースから分離する。（分離方法は、20ページ参照）

**2** ロック機構を開く。



**3** 車のタングをバックルから外す。

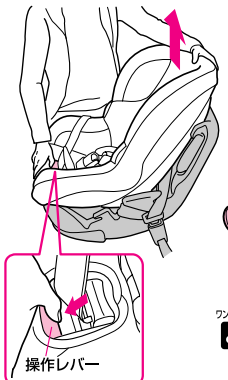


# お手入れのしかた

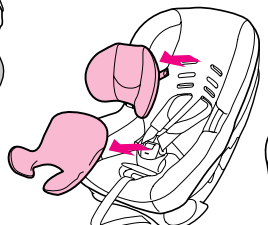
つづく

## シートカバーの外しかた

①シート部をベース部から分離する。

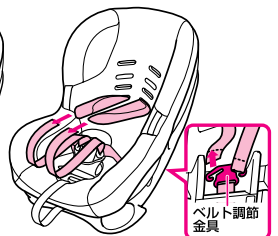



②インナークッション(頭部用/座面用)をはずす。

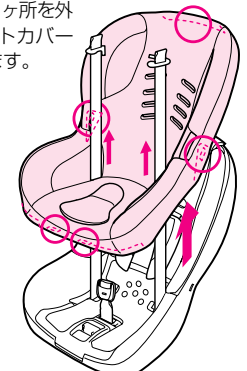


ワンポイント ●インナークッション座面用を洗濯するときは、裏側のホックをはずし、中に入っているウレタンをぬいてください。

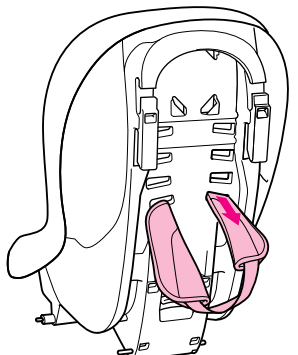
③左右の幼児ベルトをシート部裏側のベルト調節金具からはずし、肩ベルト通し穴から引き抜く。




④シートカバーの左右外側面2ヶ所のフックおよび、背面上部1ヶ所、座面前部のプレート2ヶ所を外し、シートカバーを外します。



⑤肩ベルトカバーを肩ベルト通し穴から後に1本づつ引き抜く。



お手入れ



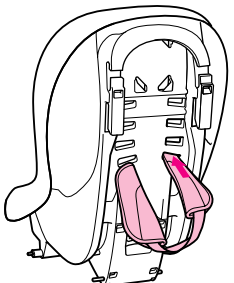


お手入れ

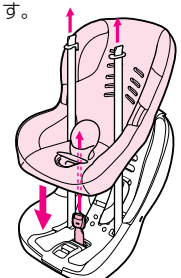
# お手入れのしかた

## シートカバーの取り付けかた

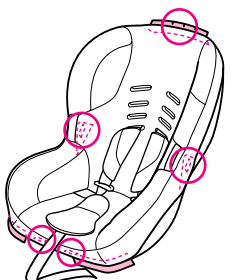
①肩ベルトカバーをシート部の裏側から取り付ける。



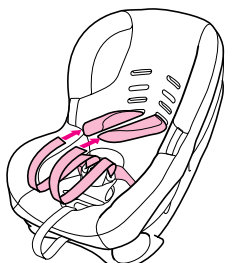
②シートカバーをのせて、バックルを股ベルトカバーの穴から、肩ベルトカバーを肩ベルト穴から通して、幼児ベルトをねじれないように表側に引き出す。



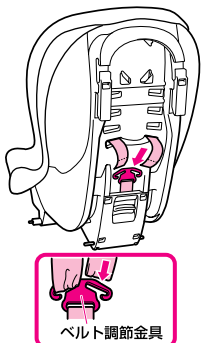
③シートカバー左右外側面2ヶ所のフックおよび、背面上部1ヶ所、座面前部のプレート2ヶ所をとめる



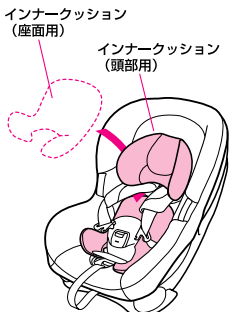
④左右の幼児ベルトを肩ベルトカバーの先端から入れ、内側を通して、肩ベルト通し穴から、シート部の裏側へ通す。



⑤幼児ベルトをベルト調節金具に取り付けます。




⑥体重にあわせて、インナークッション、ヘッドパッドを取り付ける。



# 洗いかた

## シートカバー、肩ベルトカバー、インナークッション(頭部用/座面用)、の洗いかた

●洗濯時は次のことを守ってください。

| | |
|---|---|
| | 液温は30℃を限界とし手洗いしてください。 |
| | 塩素系漂白剤は使用しないでください。 |
| | アイロン掛けはしないでください。 |
| | ドライクリーニングはしないでください。 |
| | 手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。<br>強く絞ると、シワが残ることがあります。 |
| | 日陰で平干してください。 |

※インナークッション(座面用)を洗濯するときは、中に入っているウレタンを取り出してください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

**⚠警告**

●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

# 保管・廃棄のしかた

## 保管のしかた

### 本　体

長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

### 取扱説明書

取扱説明書(本書)は、よくお読みのうえ、シート部背面裏に保管してください。

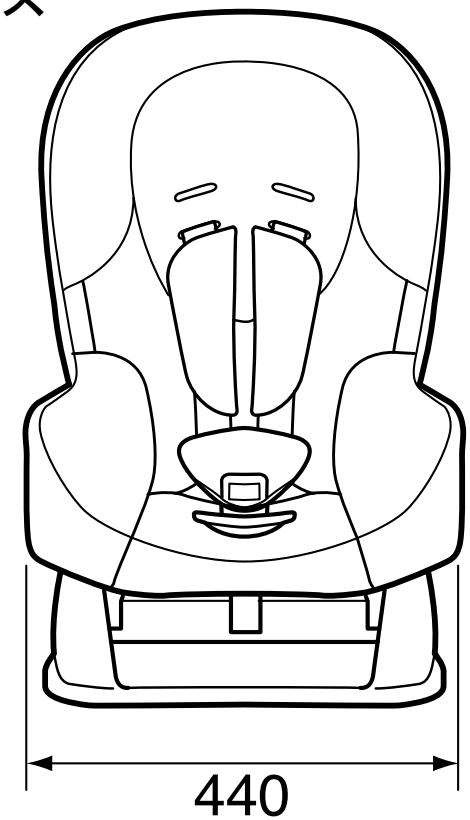
## 廃棄のしかた

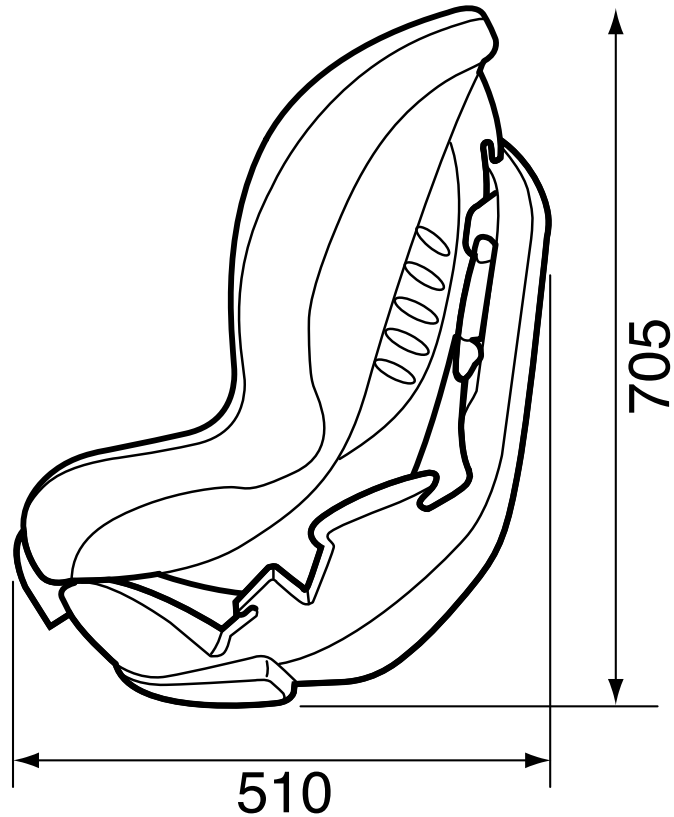
●お住まいの各自治体の規程にしたがい処分、廃棄してください。

●衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないように縫製品などをはずして、破棄してください。

# 製品仕様

## ■製品サイズ




**■製品質量** ： 本体……12.1kg
（ベース部……6.8kg
シート部……5.3kg）

**■材質** ： 本体…ポリプロピレン、ポリスチレン、
ウレタン
シートクッション
表生地…ポリエステル
クッション材…ウレタン

お手入れ

●このラインをベース部の図の部分に合わせる。




## 角度チェッカー

チャイルドシートを後ろ向きで取り付けるときの目安としてお使いください。

車両進行方向に対して後ろ向きでご使用の場合、下の図のようにベース部に合わせて、赤いラインが垂直になるよう調整してください。

●本体を左右に動かしたり、ゆすったりしないでください。

●本体を左右に動かしたり、ゆすったりしないでください。


コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシューマプラザ（Customer Service Center）までご連絡ください。

コンシューマプラザ（Customer Service Center）
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL.（048）797-1000　FAX.（048）798-6109
コンシューマプラザ（Customer Service Center）／西日本担当
〒550-0014　大阪府大阪市西区北堀江1-1-18
TEL.（06）6536-0456
FAX.（06）6536-4468



インターネット上に育児コミュニティを開設しています
コンビの育児応援サイト・コンビタウン
http://www.combibaby.com


07.02